

2019年版

北名古屋市国際交流協会

10年ビジョン

2012.03.08.制定

2013.03.14.第1次改正

2016.07.01.第2次改正

2019.07.01.第3次改正

10年ビジョンの必要性

- 1 グローバル時代のなかにあって、10万都市にふさわしい国際交流機能を拡充する必要がある。
- 2 厳しい地域間競争のなかにあって、北名古屋市らしい国際交流モデルを創り出す必要がある。
- 3 時代の転換期のなかにあって、北名古屋市らしい市民協働モデルを創り出す必要がある。

事業方針と推進体制

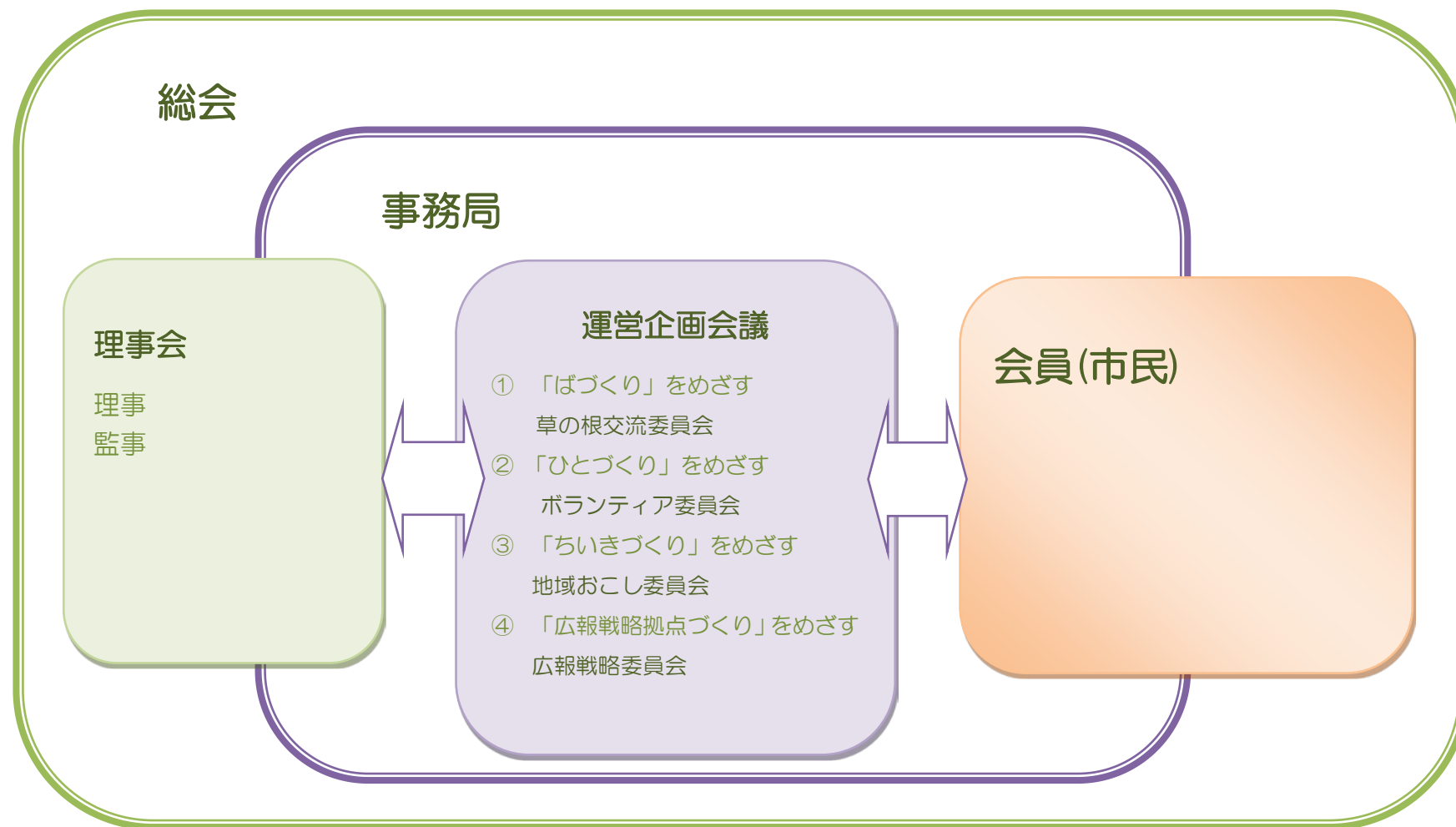
事業方針

- 1 北名古屋市国際交流協会は、世界に開かれた多文化共生社会の実現をめざすとともに、地域の活性化と国際平和に寄与するため、市民が主役となる草の根の国際交流を推進する。
- 2 北名古屋市国際交流協会は、①市民参加と、②オープンな運営を基本理念として、北名古屋市民の自由な発想と行動力により推進する。

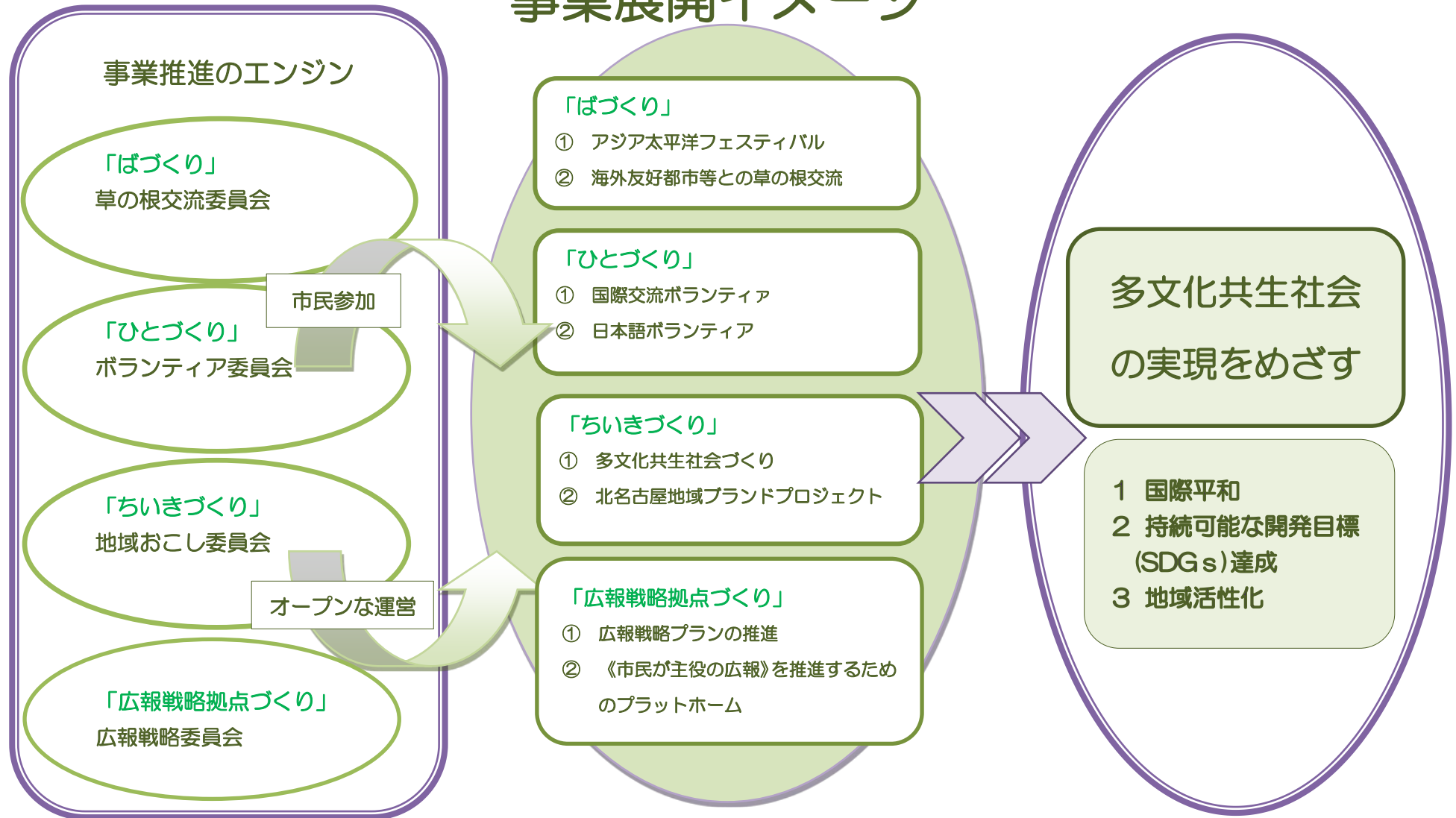
推進体制

- 1 北名古屋市国際交流協会に、**運営企画会議**を立ち上げ、①国際交流の「ばづくり」をめざす**草の根交流委員会**、②国際交流の「ひとづくり」をめざす**ボランティア委員会**、③国際交流による「ちいきづくり」をめざす**地域おこし委員会**、④《市民が主役となる広報》を推進する**広報戦略拠点づくり**をめざす**広報戦略委員会**、を設置する。
- 2 この委員会は、協会事業の推進において、アイデア出しから、企画、運営、実施まで、すべてのプロセスに関わり、市民参加の新しいかたちの実現をめざす。

事業推進体制チャート



事業展開イメージ



10年ビジョン行程表

項目	運営形態	市民参加	合意形成	公開性	広報戦略	事業展開	主要事業
第1ステージ 2007～2011 追いつく	公営民営 (○)	①行催事参加 (○) ②ボランティア参加 (○)	①総会 (○) ②理事会 (○)	①ホームページ開設 (○) ②情報開示 (○)		①ばづくり (○) ②ひとづくり (○) ③ちいきづくり (○) 20事業	①韓国務安郡との友好交流始まる (○) 韓国務安郡→2008.7.9.友好都市締結 ②韓国フェスティバル (○)
第2ステージ 2012～2018 並ぶ	公営民営 (○)	①行催事参加 (○) ②ボランティア参加 (○) ③事業計画・運営参加 →アイデア出しから・企画・運営・実施まで	①総会 (○) ②理事会 (○) ③運営企画会議 (○)	①ホームページ開設 (○) ②ボランティア交流サイト (フェイスブック) 開設 (○) ③情報全面開示 →合意形成プロセスまで (△)	①広報戦略プラン (○) ②広報戦略委員会立ち上げ (○)	①ばづくり (○) ②ひとづくり (○) ③ちいきづくり (○) ④交流づくり (○) 20事業	①アジア太平洋フェスティバル (○) ②友好交流中学生交流プログラム (○) ③北名古屋地域ブランドプロジェクト (○) ④米国グアムとの草の根交流始まる (2015年) (○) ⑤台湾との草の根交流始まる (2018年) (○)
第3ステージ 2019～2028 先にすすむ	公営民営 (○) →民設民営・NPO 法人化 (△)	①行催事参加 (○) ②ボランティア参加 (○) ③事業計画・運営参加 →アイデア出しから・企画・運営・実施まで (△)	①総会 (○) ②理事会 (○) ③運営企画会議 (○)	①ホームページ開設 (○) ②ボランティア交流サイト (フェイスブック) 開設 (○) ③情報全面開示 →合意形成プロセスまで (△)	①広報戦略拠点づくり (△) ②広報戦略プロジェクト (△) ③外国人向けDVD制作 (△) ④ファクト・ブック (△) ⑤フィルム・コミッション (△) ⑥インフォメーション・センター (△)	①草の根交流づくり (△) ②ひとづくり (△) ③ちいきづくり (△) ④広報戦略拠点づくり (△) 30事業	①アジア太平洋フェスティバル (○) ②北名古屋地域ブランドプロジェクト (○) ③草の根交流プログラム (○) (1)韓国務安郡との友好交流プログラム (2)米国グアムとの草の根交流プログラム (3)台湾との草の根交流プログラム ④広報戦略プロジェクト (△) ⑤SDGs (持続可能な開発目標) プログラム (△)